

## 平成 25 年度「三重県行財政改革取組」 上半期の進捗状況について

自立した地域経営を実現し、「みえ県民力ビジョン」の着実な推進につなげていくため、「三重県行財政改革取組」に掲げる 52 の具体的取組について、昨年度から全庁を挙げて取り組んでいるところです。

本取組の実施については、具体的取組ごとに「年次計画」を作成し、達成に向け着実に推進していくとともに、毎年度の進捗状況については半期ごとに取りまとめ、県議会への報告並びにホームページなどを通じて県民の皆さんへ公表することとしています。

### 1 具体的取組の上半期実績

昨年度達成済み（22 取組）を除く 30 取組について、上半期（4 月～9 月）実績を資料 1 別表のとおり取りまとめました。なお、8 月末現在で作成しているため、9 月実績は見込みとなります。

#### <主な具体的取組の状況>

#### (1) 人づくりの改革

##### ①「三重県職員人づくり基本方針」の策定（別表 番号 1）

平成 24 年 12 月に策定した「三重県職員人づくり基本方針」に基づき、仕事を通じた人材育成（OJT）機能の充実として OJT リーダーの設置や OJT 支援研修の実施、若手・中堅職員の能力開発として新規採用職員トレーナーの複数体制化及びジュニアボード制度など若手・中堅職員の政策形成能力等の向上を図る取組の実施、コンプライアンスの意識を高める研修やミーティングの実施など、本方針の本格運用を開始しました。

##### ② 高度な専門性と「協創」のスキルの向上に重点を置いた人づくり（別表 番号 6）

「三重県職員人づくり基本方針」に基づき平成 25 年 3 月に策定した新たな職員研修計画により、専門的な知識のほか、「発信力」「説明力」「ホスピタリティ」など、職員に必要な能力の磨き上げを効率的・効果的に行うブラッシュアップ研修の一環として、法制執務研修、政策形成の技法研修、ビジネスマナー研修を実施しました。

##### ③ 新たな研修体系の構築と研修の充実（別表 番号 7）

「三重県職員人づくり基本方針」に基づき平成 25 年 3 月に策定した新たな職員研修計画により、職場における人材育成支援や組織マネジメント力の向上を図る研修として、OJT リーダー研修、新任所属長研修、新任班長等研修、次長級研修を実施しました。なお、7 月実施予定であった部局長研修については、10 月に実施します。

## (2) 財政運営の改革

### ① 個人住民税の徴収対策の推進（別表 番号 13）

平成 26 年度から県内の全市町が法令に基づく特別徴収義務者の指定を徹底していくため、各関係会議や研究会などで市町と協議を進めており、指定予告通知書について、平成 25 年 10 月 16 日に全市町が一斉発送することを決定しました。また、制度の理解と浸透を図るため、県の広報枠を利用した P R や、関係団体会員等への説明を実施しました。

県による直接徴収の取組として、参加 7 市町からの引受案件の滞納整理を行うほか、より多くの市町と連携していくため、各地域税込確保対策会議で参加を要請しています。

### ② 県民が納税しやすい環境の整備（別表 番号 15）

平成 26 年 5 月のクレジットカード納税導入に向け、指定代理納付者の選定として、制度設計作業及びクレジットカード納付導入にかかる仕様書を作成しています。なお、導入に係る入札等は 11 月から行い、計画どおり年度内に導入作業は完了する予定です。

自動車税を含む自動車保有関係手続のワンストップサービス（OSS）の導入については、各 OSS 関係会議、ワーキンググループ等により検討を実施しています。

### ③ 多様な財源確保策の導入（別表 番号 16）

県有施設へのネーミングライツについて、昨年度策定した「県有施設に対するネーミングライツの導入に関する基本方針」に基づき、募集条件やネーミングライツ・パートナーの選定基準等を検討しています。

県行造林におけるオフセット・クレジット制度について、一般社団法人フォレストック協会と締結した「フォレストック認定に基づく CO<sub>2</sub> 吸収量の売買予約基本契約書」に基づく CO<sub>2</sub> 吸収量クレジット売買を行っています。

### ④ ふるさと納税の推進（別表 番号 18）

制度の周知として、関係部局主催のイベントや他県で開催されるイベントなどでの P R を実施するとともに、昨年度の P R 状況と寄附の状況を分析し、寄附に繋がりやすい内容のパンフレット作成など、より効果的な P R 策を検討しています。なお、新聞による広報については、12 月のふるさと納税促進強化月間に合わせ実施する予定です。

寄附していただきやすい環境づくりとして平成 24 年 12 月に導入したインターネット環境における収納システムの利用実績は導入以降 7 件 133 千円（8 月末現在）となっています。

### (3) 仕組みの改革

#### ① 政策を推進するための新たな仕組みの構築（別表 番号 24）

「みえ成果向上サイクル（スマートサイクル）」の本格的な運用として、春の政策協議、事業改善に向けた有識者懇話会（ブラッシュアップ懇話会）、秋の政策協議などを実施しました。

運用状況については、春の政策協議を踏まえ検証を実施し、秋の政策協議の検証とあわせて、今後見直すべきところを見直し、次年度以降の運用へ反映します。

#### ② 政策評価（SEE）の仕組みの見直し（別表 番号 25）

「みえ成果向上サイクル（スマートサイクル）」におけるオールインワンシステムを活用し、毎年度の成果や課題、翌年度の改善方向などを取りまとめた「平成25年版成果レポート」を公表しました。

上記サイクルにおける改善（Act）機能の強化を図り、施策の目標達成に資するため、外部有識者からの意見を聴き取る「事業改善に向けた有識者懇話会（ブラッシュアップ懇話会）」を開催しました。いただいた意見等は今後の事業の見直しや当初予算編成などに活用します。

#### ③ 外郭団体等の見直し（別表 番号 31～33）

平成25年3月に取りまとめた「三重県外郭団体等改革方針」に基づき、個別団体の見直し及び県関与の見直しについて、所管部局による団体等との調整を実施しています。

上半期において、団体のあり方見直しとして1団体が完了、県関与の見直しとして委託補助金等の見直し2団体、役員等就任の見直し14団体が完了、職員派遣の見直しにより4名を削減しました。

団体経営評価については新たな評価様式等を策定し、団体等へ変更箇所等を周知するため説明会を開催しました。団体から提出された自己評価は、所管部局による審査及び評価を実施し、結果を議会へ報告、公表します。

## 2 年次計画に対する進捗状況

30の具体的取組のうち、上半期経過時点（9月末）で、年次計画より進捗している、又は既に年次計画を達成しているものは3取組（10%）、ほぼ年次計画どおり進捗しているものは24取組（80%）、進捗の遅れ等あるが、年次計画達成は可能なものは3取組（10%）で、既に年次計画達成が不可能と思われるものはありませんでした。

下半期につきましても、引き続き適切な進行管理に努めるとともに、進捗の遅れ等があるものも確実に達成するよう、年次計画及びロードマップ（工程表）に基づき、着実な推進を図ります。